

2025/02/19

林業分野におけるDX促進「ドローンを活用した補助事業・森林情報の把握に関する研修(北海道造林協会主催)」にて講習を実施しました

朝日航洋株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:加藤浩士 以下、朝日航洋)は、一般社団法人 北海道造林協会との業務委託により、「ドローンを活用した補助事業・森林情報の把握に関する研修(以下、「本研修」)にて講習を実施しました。

本研修は、北海道庁が森林環境譲与税を活用して実施している市町村森林整備総合支援委託業務を受託した北海道造林協会が、道内市町村職員及び森林組合職員を対象に林業分野におけるDX促進を目的に研修として取り組むものです。

2019年度から始まった本研修は、今年度で通算6年目の開催、研修回数として累計15回を誇り、朝日航洋は今年度もドローン及びGIS技術者講師として担当しました。

【研修概要】

- ① ドローンを用いた現地操縦、SfM処理画像撮影用フライトプランの作成
 - ・ドローンに関する航空法
 - ・機体の操縦方法、自動航行アプリの操作方法
- ② クラウド型ドローン測量サービス「くみき」による森林情報の把握手法
 - ・ドローン計測画像からのオルソ作成
 - ・森林計画図(シェープファイル)のインポートによる、樹種別林況の広域把握
- ③ QGIS を活用した補助事業申請図面の作成
 - ・「くみき」で作成したオルソ等をQGISに追加して図面レイアウトを作成(受講者一人1台のPC環境による研修)

朝日航洋は林業分野DXの更なる促進に積極的に関与し、ドローンを始めとした全てのエアモビリティを活用することで、地理空間情報と、空のモビリティを駆使し、社会に役立つサービスを提供して参ります。



2024年度開催 現地研修時の様子



2024年度開催 現地研修時の様子